

教育目標

- 確かな学力
- 豊かな心
- 健やかな体
- を持つ生徒の育成



喜多方三中
学校だより
第1号

平成27年4月 9日
文責：佐久間 雄彦

平成27年度 第一学期始業式 式辞

第2学年、第3学年に進級した皆さん、おめでとうございます。第1学期始業式にあたり、2、3年生にお話ししたいと思います。

私の目標とする学校は「生徒同士、生徒と先生方との信頼関係を土台とした活気ある学校」です。学校は、楽しい場所でなければなりません。今年から 特別支援学級が新設されます。同級生と、先輩と、後輩と、全校生仲良く過ごしてください。決して、相手の嫌がることをしても、言ってもいけません。いじめのない学校でなければなりません。

新しく加わった5人の先生方を含めて、先生方と協力して、楽しく活気に満ちた学級、学年、学校をつくりあげていってください。そのことが三中のさらなる発展の原動力になるのです。

今日の始業式式辞でこのことだけは頭の中、心の中にしっかりしまいこんでください。校長から君たちへの最初のメッセージです。「山を越えるためには、坂を登らなければならない」という言葉があります。厳しく言えば努力もしないで甘いことだけを考えるなどということです。

君たちの目の前にある、やるべことにしっかり、取り組んでいってください。家庭学習も含め日々の学習や部活動、生徒会活動など、コツコツと努力を積み重ねてください。

次に「さわやか三中生」「あいさつ」「服装」「言葉遣い」の継続した取り組みです。今までも取り組んできましたが、本年度はあいさつと深く関わり、連動するといわれる「返事」に今まで以上に力を入れていきたいと思えます。授業や部活動で自分の名前が呼ばれたり、指導を受けた時には、元気にさわやかな「返事」ができるように心がけてください。

人間、元気がなくては何もできません。学習、部活動全ての基本は「やる気」です。挨拶や返事が満足に出来ずして何が出来ますか。三中生、全員が洗練されたさわやかな挨拶、返事が出来てはじめて次のことに取り組むことができるのです。自分の内面をさらに磨き上げるために、多くのことに挑戦し体験をし、自分を成長させていってください。

2年生の皆さん、学校の中堅として、学校を引き締めていってください。2年生がしまると学校がしまります。

3年生の皆さん、君たちが三中の顔です。三中の全てといっても過言でもありません。学校の中心となって引っ張っていってください。先生方は君たちを力強くサポートしていくことを約束します。

最後になりますが、全校生で何よりも大切なものは尊い生命であることを確認し、全員で自分の健康に気を配り、交通事故を含めて様々な事故がなく毎日活気ある生活を送りましょう。

以上、第一学期始業式式辞とします。

平成27年4月6日

喜多方市立第三中学校長 佐久間雄彦

